

明治大学リバティアカデミー エグゼクティブビジネスプログラム

不動産プロフェッショナルアカデミーシリーズ

ー不動産に関する深い理解、実践と企業経営に通じたプロフェッショナルの養成コースー
実務界の第一線で活躍する講師陣による、
不動産のプロフェッショナル向けで、継続的、かつ短期集中して特定のテーマを学ぶ機会です。

❖ 第3回

企業不動産(CRE)戦略とファシリティマネジメント(FM)の新しい展開

CRE(企業不動産)戦略の基礎からグローバル企業による新しい展開まで、事例を用いて学習する

日時：5月29日(月)～6月2日(金)【5日間連続】 19:00～21:00

定員：30名 受講料：100,000円

❖ 第4回

事業用不動産開発(ヘルスケア施設)

有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅、病院等の開発、運営、投資

日時：7月31日(月)～8月4日(金)【5日間連続】 19:00～21:00

定員：30名 受講料：100,000円



会場 明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン
(JR 御茶ノ水駅 徒歩3分)

◆エグゼクティブビジネスプログラムとは

本プログラムは、明治大学ビジネススクール(MBS)を中心としたビジネスカリキュラムをベースとし、多くの企業と連携をして行う高度な学びを提供するプログラムです。企業における企業幹部およびその候補者及びそれを目指す人を対象にし、経営人材の高度化に貢献することを目的としています。

プログラムの5つの特徴

1. 豊富な実務経験を持つ講師陣

全員が多様な分野のビジネス経験をも講師陣が提供する企業幹部およびその候補者向けプログラムです。

2. インタラクションを用いた講義

一方的な講義ではなく、インタラクションを用いた講義も行います。

3. 受講生同士の新たなネットワークを構築

講義の中にネットワーキングを設け、受講生同士の新たなネットワーク構築を図ります。

4. 専門家の生の声を直接聞ける機会

普段直接話を聞く機会の少ない専門家による講演により、ケースや講義が机上にとどまらず、より実践的かつ深い理解につながります。

5. 短期集中による経営発想能力の向上を目指します

現場で活用することのできる経営発想能力を養うことを目指しています。

受講をお薦めする方

経営者、企業における幹部及び候補者

(企業からの派遣も積極的に受け入れています)

◆明治大学ビジネススクール (MBS) について

MBSは日本国内でMBA (Master of Business Administration) を取得できる専門職大学院です。社会人が働きながら大学院に通学できるよう、平日の夜間と土曜日に授業を行なっています。プロフェッショナルな実務教育の実践を目指す専門職大学院として、個々のカリキュラム選択にはフレキシブルに対応が可能です。6領域の約170科目に及ぶ科目の中から授業を選択でき、個人の指向・目的に応じ、ゼネラリストとしてもスペシャリストとしても体系的に学ぶカリキュラムを用意しています。

修了しMBAを取得した後も、科目等履修制度、OBネットワーク活動、各種勉強会・公開講座等に参加でき、成長し続けるための生涯教育を支援しています。

◆MBS 不動産プロフェッショナルアカデミーシリーズの設立趣旨、目的

企業活動にとっての不動産（CRE）関連サービスは、財務、人事、情報システムなどと同様に、コアビジネスを支え、全社で共有する重要なサービス（シェアードサービス）のひとつであり、また不動産はプロの不動産投資家はもちろんのこと一般企業にとっても重要な投資資産です。

そのため、企業内部の不動産のご担当（CRE担当）のみならず、外部から企業にアドバイスをし、仲介、管理、税務、法務などのサービスを提供するプロフェッショナルにとっても、不動産の開発、税務、M&A、不動産投資、CRE戦略等、不動産に関する深い専門知識、経験とともに多面的な分野の理解が求められています。

本コースは、企業組織内でCRE担当を目指す人々とともに、不動産デベロッパー、投資ファンド、不動産仲介、鑑定、税理士などコンサルタントを目指す人、金融機関で不動産投資、融資に関わる人等、ビジネスの第一線におられるエグゼクティブおよびこれからこのような経営、不動産のプロフェッショナルをめざす人々等を対象とし、自らの専門分野を深め、かつ他の専門家と協働の元、リーダーとして一つのプロジェクトを仕上げていく力、又はそれを推進するコンサルティング力を短期集中的に学ぶ機会を提供するものです。

講師は、MBSの教員の他、実務界の第一線で活躍する先生方を予定しています。理論と大きな環境変化の中での実務を題材に、受講生の方々とのインタラクティブな議論の中で、新しい発見が生まれることが期待できます。

1モジュール {単位} 10時間程度でお伝えできることは限られているかもしれませんが、更に自ら知識、経験を深めていかれるきっかけになることを期待します。（より幅広い知識得て考えを深め、自ら論文を作成してみたいという方はMBAコースへのチャレンジをお勧めします。）

本講座ではまた、講師の先生方や受講者間のネットワーキングの場を提供します。受講者の皆様のビジネス、人生に幅を広げるきっかけにいただければと思います。

日本において不動産のプロフェッショナル講座向け講座は、単発のものはありますが、継続的に、しかも短期集中して特定のテーマを学べる機会はほとんどありません。少子高齢化、グローバル化、情報機器、人口知能の発達など、日本の経済、不動産を取り巻く環境が変わる中、不動産のプロとしての基礎を固めつつ、環境変化にキャッチアップし、先んじる人材の育成を目指します。

昨年度は10月に「事業用不動産開発（商業施設）」と本年2月に「不動産有効活用と税」を取り上げました。本年は以下のテーマで開催します。

■受講お申込み方法・受講に関するお問合せ

明治大学 リバティアカデミー事務局

TEL : 03-3296-4423 FAX : 03-3296-4542

(平日 10:30~19:00、土曜 10:30~15:30、日祝 休)

★WEBからもお申込みいただけます。

第3回 企業不動産(CRE)戦略とファシリティマネジメント(FM)の新しい展開

<https://academy.meiji.jp/course/detail/3584/>

第4回 事業用不動産開発(ヘルスケア施設)

<https://academy.meiji.jp/course/detail/3587/>

申込締切 各コース開講 1週間前まで

【注意事項】

- ・本プログラムにはリバティアカデミーの入会金(通常3,000円)を含みます。
- ・受講に際しては、「入会と受講のご案内(入会規約)」を必ずご確認ください。
- ・開講基準人数に達しない場合は、不開講となる場合がございます。

■講座内容に関するお問合せ

下記Eメールアドレスまでお願いいたします。

murakiss@meiji.ac.jp コーディネータ 村木

(参考) 関連HP : 明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科(ビジネススクール)

<http://www.meiji.ac.jp/mbs/> カリキュラム 等をご参照ください。

【会場】 明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

JR中央線/総武線「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口 徒歩3分

(地図はこちらから確認いただけます <https://academy.meiji.jp/guide/access.html>)



講座・講師紹介

第3回 企業不動産(CRE)戦略とファシリティマネジメント(FM)の新しい展開

CRE(企業不動産)戦略の基礎からグローバル企業による新しい展開まで、事例を用いて学習します。

CRE(企業不動産)戦略とは、企業の保有する不動産について、〈1〉全社的経営戦略、財務戦略、マーケティング戦略等との整合性を考え、〈2〉その戦略に適合するように売買、有効利用、ファイナンスなどの不動産取引を実行し、〈3〉実際に利用、保有する不動産の管理、利用の合理性、効率性を高め、かつ利用者にとって利便性、生産性を上げられるようなマネジメントを行なうことであり、最終的には企業価値を上げるための戦略です。

本講座では、このようなCRE戦略全体と共に、特に上記(3)に関係するファシリティマネジメントに焦点を当て、各企業の経営者、財務担当者、不動産担当者等、およびこのような顧客に不動産に関連するサービスを提供するプロフェッショナルが、企業経営の視点をもって業務を行なえるための基礎を提供することが目的です。さらにグローバルに先進的な取り組みをされている企業の事例を研究し、また、ケーススタディを通じて、受講者が自ら所属する組織にとっての課題解決のための提案ができるようになることを目指します。(実施場所、申し込方法等別紙パンフレットご参照)

なお、今回受講者の方には、下記①の講義内容にあるCRE戦略の7つの視点について、自社あるいは顧客の課題と対応策につき事前にメモ作成していただきます。本講座シリーズ終了後、講義の内容を踏まえて、CRE戦略改善に関する企画書を作成し、原則提出していただきます。その企画書について、講師有志からコメントさせていただきます。また、受講者の方で希望者を対象とした無料の勉強会を企画する予定です。

NO	日時	テーマ	講師	講義内容
①	5月29日(月) 19:00-20:00	CRE戦略の全体像と 関連するプロフェッ ショナルサービス	明治大学専門職大 学院グローバル・ ビジネス研究科特 任教授 村木 信爾	CRE戦略に関し、経営中枢に関わる課題、 組織、情報、人材、CRE戦略立案、トラン ズアクションマネジメント、FMの7つの視 点で鳥瞰し、解説する。また、CREに携わ るプロフェッショナルおよびその育成につ き議論する。
②	5月29日(月) 20:00-21:00	CRE戦略のグローバ ル展開、最先端の動き	ジョーンズ・ラン グ・ラサール(株) 執行役員、MBS 兼任 講師 佐藤 俊朗	変化する世界情勢の中、日本企業がグローバ ルビジネス展開し利益を確保するためには、 どのようにCRE戦略を策定するべきなのか? 重要な視点は何か?を事例を交え解説す る。
③ ④	5月30日(火) 19:00-21:00	CRE戦略の中でのファ シリティマネジメント -事例を踏まえて	JFMA調査研究 委員会/ 日本郵政(株) 似内 志朗	CREに関する考え方とその一環であるファシ リティマネジメントについて、ライフサイク ルコストとファシリティコストの考え方、フ ァシリティマネジメントの必要性について言 及し、あわせてその一環である不動産開発に ついて、日本郵政グループの事例を紹介する。

⑤ ⑥	5月31日(水) 19:00-21:00	FM ケーススタディ	松岡総合研究所代 表取締役(経営コン サルタント) 松岡 利昌	CRE/FM 戦略業務を担当する総務担当のファ シリティマネジャー D 課長が、厳しい経営 環境の中、コスト削減の解決策を求められて いる。全社戦略と FM 戦略がどのように連動 し、本社業績に貢献できるのかをショートケ ースを通じて学ぶ。数名のチームに分かれて グループ討議から答えを導く。
⑦	6月1日(木) 19:00-20:00	CRE 戦略とコーポレー トガバナンス改革	㈱ニッセイ基礎研 究所 社会研究部 上席研究員 百嶋 徹	コーポレートガバナンス改革がアベノミクス の成長戦略の一環として政府主導で進めら れ、その中で ROE 重視の経営が求められてい る。まず小職が考える CRE 戦略論を概説し、 続いてコーポレートガバナンス改革と ROE 経 営について概観した上で、ROE 経営における CRE 戦略の重要性と課題について議論する。
⑧	6月1日(木) 20:00-21:00	CRE, FM事例1(健 康経営に進化した CRE 改革)	オムロン㈱ グローバル総務部 部長 永宗 秀規	CRE に求められる経営与件は「保有資産」の 有効活用や「拠点運営経費」の効率化だけ なく、会社にとって最大の資源である「社員」 の生産性向上へとウェイトがシフトしてきて いる。「健康経営」をキーワードに働き方改革 を推進し、健康施策の立案と、それに伴う健 康空間の創造に戦略的に投資していく事例を 紹介。
⑨	6月2日(金) 19:00-20:00	CRE, FM事例2(グ ローバル CRE 戦略事例 と人財育成)	日産自動車㈱ グローバル資産管 理部 部長 國領 敏彦	ダイナミックに変化する事業環境に対応する ために その時々々の事業戦略における CRE 組 織の役割は変化して行く。 事業会社においてインハウス CRE 組織に求め られる役割とそれに應えるための活動 及び 付加価値を提供できるチームとなるための人 財育成活動について紹介する。
⑩	6月2日(金) 20:00-	ネットワーキング		

(講師紹介)



村木信爾 (むらき しんじ)

明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科特任教授、

大和不動産鑑定株式会社エグゼクティブフェロー 不動産鑑定士、不動産カウンセラー

【略歴】

京都大学法学部卒。米国ワシントン大学経営学修士 (MBA)。住友信託銀行にて不動産業務、海外業務など担当後、2009年より現職。現在不動産評価をベースに不動産コンサルティングに従事。MBSでは、不動産評価、CRE戦略、不動産プロフェッショナルサービス論などを担当。国土審議会土地政策分科会不動産鑑定部会専門委員、元不動産鑑定士試験論文式試験委員、国交省のヘルスケアリート活用に係るガイドラインの検討委員会委員等を歴任。公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会常務理事、NPO 法人日本不動産カウンセラー協会常務理事、一般社団法人土地再生推進協会理事ほか。

【著作等】

『ヘルスケア施設の事業・財務・不動産評価』(編著) (同文館出版) 『ホテル・商業施設・物流施設の鑑定評価』(編著) (住宅新報社)、『新・要説不動産鑑定基準』(共著) (住宅新報社) 『借地権割合と底地割合』(共著) (判例タイムズ社) 等多数



佐藤俊朗 (さとう としろう)

ジョーンズ・ラング・ラサール(株) 執行役員 コーポレート営業本部長、MBS 兼任講師

【略歴】

明治大学商学部卒業後、約30年間にわたり、幅広い企業クライアント層を対象とした不動産業務に従事。10年間の米国勤務においては、先進的な米国のCRE(企業不動産)戦略を取り入れ、主に大手グローバル日本企業を対象に、不動産戦略の構築、コスト削減やポートフォリオ適正化をサポート。その後、過去10年間は日本を拠点に、同分野において数多くのグローバル日本企業の業務を受注。前職から現職に引き続き、一般事業会社向けの包括的な不動産ソリューションの提供を統括。同時に、日本及び海外における事業会社向けCRE戦略全般のコンサルティングやアウトソーシング業務に関する営業を統括。取引実績は世界数十か国、コンサルティング対象国は数十か国に及ぶ。



似内志朗 (にたない しろう)

JFMA調査研究委員会/日本郵政(株)

【略歴】

早稲田大学理工学部建築学科卒業、ロンドン大学パートレット建築校大学院修了。1984年郵政省入省。建築設計、戦略的ファシリティマネジメント導入、新規事業開発・企業提携等を経て、日本郵政(株)不動産企画部にて日本郵政グループ保有の不動産開発事業に従事。JPタワー、大宮JPビルディング、KITTE博多、JPタワー名古屋等の開発企画を統括。公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会調査研究委員会委員長、ユニバーサルデザイン研究部会長。一級建築士、認定ファシリティマネジャー、SC経営士。

【著作等】

『第4の経営基盤』（共著）『CREマネジメントハンドブック JAPAN2016』（共著）等。

【講演等】不動産開発、ファシリティマネジメント、ユニバーサルデザイン、健康経営関連で講演・シンポジウムなど多数。



松岡利昌（まつおか としあき）

松岡総合研究所代表取締役（経営コンサルタント）

【略歴】

株式会社 松岡総合研究所 代表取締役／経営コンサルタント。京都工芸繊維大学次世代ワークプレイス研究センター（NEO）特任准教授／非常勤講師（2007.4より）。元国立大学法人名古屋大学施設・環境計画推進室特任准教授（2005年10月～2016年3月）、日本建築学会会員。

日本オフィス学会会長（発起人理事）、日本ファシリティマネジメント協会理事のほか、Corenet Global Japan Chapter、ISO TC267 FM MSS（ISOFM国際標準作成委員会）、NOPA（ニューオフィス推進協会）、米国マサチューセッツ工科大学 ISFE、米国 IFMA（国際ファシリティマネジメント協会）、等海外組織でも多くの役職、講座を持つ。

【著作等】

『オフィス2030』（白楊社共著）、『第四の経営基盤』（JFMA出版、共著）、『ファシリティマネジメントハンドブック（翻訳本）』（産業情報センター社、全体監修訳）、『総解説ファシリティマネジメント追補版』（日経新聞出版社、共著）、『総解説ファシリティマネジメント』（共著、日経新聞社）等多数。

日経ニューオフィス賞経済産業大臣賞、日経ニューオフィス賞、日本ファシリティマネジメント協会 JFMA 大賞の奨励賞、優秀 FM 賞、名古屋大学で功績賞、建築学会賞業績賞等多数受賞。

【事業概要】

建築、デザインの知識と経営戦略支援の実績との融合を目指して、企業経営戦略の視点から見た日本的ファシリティマネジメント（FM）コンサルティングサービスを実施。土地建物を活用する日本の大手企業の CRE/FM 戦略コンサルティングにおいて実績を上げている。1991年より現職。名古屋大学においては FM 戦略モデルの研究開発を進め、『名古屋大学キャンパスマスタープラン 2010/2016』をまとめた。



百嶋徹 (ひやくしま とおる)

㈱ニッセイ基礎研究所 社会研究部 上席研究員

公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員

【略歴】

1985年(株)野村総合研究所入社、証券アナリスト業務および財務・事業戦略提言業務に従事。野村アセットマネジメント(株)出向を経て、1998年(株)ニッセイ基礎研究所入社。企業経営、産業競争力、産業政策、イノベーション、CRE、環境経営・CSR等が専門の研究テーマ。日経金融新聞およびInstitutional Investor誌アナリストランキングで素材産業部門第1位(1994年発表)。2006年度国土交通省CRE研究会の事務局を担当。国土交通省『CRE戦略実践のためのガイドライン』の「事例編」の執筆を担当(2008～10年)。公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会(JFMA)CREマネジメント研究部会委員(2013年～)。明治大学経営学部特別招聘教授を歴任(2014～2016年度)。CRE戦略の重要性をいち早く主張し、普及啓発に努める。

【著作等】

『CRE(企業不動産)戦略と企業経営』(共著、東洋経済新報社)で第1回日本ファシリティマネジメント大賞奨励賞受賞(JFMA主催、2007年)。主要論文に「CSRとCRE戦略」「イノベーション促進のためのオフィス戦略」(ともにニッセイ基礎研レポート)、「CRE戦略の企業経営における位置付けと役割」(ニッセイ基礎研所報)、「CREマネジメントと企業経営」(月刊不動産鑑定)等多数。



永宗秀規 (ながむね ひでき)

オムロン(株) グローバル総務部 部長

【略歴】

- ・オハイオ州立大学 建築学部建築学科 卒業
- ・オレゴン大学大学院 建築学修士課程 終了
- ・株式会社ゼクス 不動産事業開発部 大阪支店 副支店長を経て現職



國領敏彦 (こくりょう としひこ)

日産自動車(株) グローバル資産管理部 部長

【略歴】

1992年 日産自動車(株)入社

以上

第4回 事業用不動産開発(ヘルスケア施設)

有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅、病院等に関する、投資環境、事業・財務分析、開発、運営、事業承継、金融機関の融資、J-REITを含む投資に関する講座です。

特に、ヘルスケアアセットの経営、投資に関わる方、不動産あるいは株式評価をする方、介護事業、医療に関わる方、ファイナンスやファシリティマネジメントに関わる方々が、当該ビジネスを鳥瞰し具体的な課題を考える機会として最適だと思われます。

今回の受講者の方々には、事前に基本書を配布し、それぞれの講師から事前に提供された課題を検討いただき、それを講義の中でディスカッションする場も持つ予定です。

NO	日時	テーマ	講師	講義内容
① ②	7月31日(月) 19:00-21:00	ヘルスケア施設の投資環境と事業、財務分析)	KPMG ヘルスケアジャパン 代表取締役 松田 淳	ヘルスケア施設のおかれた事業環境、流動化の現状について概説するとともに、高齢者施設・住宅と病院について、事業・財務分析のポイントやバリエーションの考え方について解説をする。
③	8月1日(火) 19:00-20:00	ヘルスケア事業と不動産【特にサービス付き高齢者向け住宅】	(株)学研ココファンホールディングス エキスパートマネージャー 鉄尾 佳司	ヘルスケア施設、特にサービス付き高齢者向け住宅を運営する事業者の立場から、ヘルスケア事業の構造や特徴、ヘルスケア施設の不動産流動化、海外での介護ビジネスについて解説する。
④	8月1日(火) 20:00-21:00	ヘルスケア関係建築・土地有効活用	大和ハウス工業(株) シルバーエイジ研究所 所長 今井 高浩	ヘルスケア施設の種類と特色について説明。また建築と各種の不動産所有形態における施設運営事業者と土地所有者(不動産事業運営者)の利点等について解説予定。
⑤	8月2日(水) 19:00-20:00	医療機関の事業承継について	税理士法人山田&パートナーズ横浜事務所長 里 勇輝	医療機関の事業承継をテーマとして、「医療法人における承継」、「個人開業医における承継」に区分して、税務上の考え方や留意点を解説する。
⑦	8月2日(水) 20:00-21:00	事業用不動産としてのヘルスケア施設の評価	明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科特任教授 村木 信爾	高齢者施設・住宅や病院はホテルや商業施設と同様に、事業者の事業がその価値に大きく影響を与える、いわゆる「事業用不動産」である。講義では、その価値評価の基本的考え方と、高齢者施設・住宅や病院の鑑定評価の際の留意点につき解説する。

⑧	8月3日(木) 19:00-20:00	ヘルスケアリートについて	ジャパンシニアリビング パートナーズ(株) 代表取締役社長 藤村 隆	ヘルスケアリートは、不動産と金融を結びつけるプロフェッショナルとして、「1億総活躍社会」、「介護難民」、「財政逼迫」、「地域医療構想」等の少子高齢社会の課題にどのようなソリューションを提供していくのか？そのビジョンと実務を解説する。 ①ヘルスケアリートの理念と投資案件の事例 ②ヘルスケアリートの投資基準とリスク分析手法 ③2025年問題に向けた国の政策や社会のニーズへの対応
⑤	8月3日(木) 20:00-21:00	ヘルスケア施設のファイナンス	(株)あおぞら銀行 本店営業第六部 医療福祉グループ 部長代理 瀬戸 友介	診療報酬のマイナス改定が始まり、変革期に入った医療業界に対応すべく、2002年に医療介護分野の専門チームを設立。業界特有のクレジット判断のノウハウや、様々なニーズ・スキームに対応した医療ファイナンスの経験に基づく「ファイナンスの留意点」に加え、近年活発化しているM&Aによる業界再編の動きに対する金融機関の取り組みや、地域包括ケアシステムの実現のために金融機関に求められる役割等について解説します。
⑥	8月4日(金) 19:00-20:00	ヘルスケア FM について	(株)ヘルスケアFM研究所 代表取締役社長、 (公社)日本ファシリティマネジメント協会ヘルスケアFM研究部会長 上坂 修	現代日本の縮図と言えるヘルスケア施設は高齢化社会において変化へのマネジメントを求めている。ここではCREのFMとは別の、サービス提供施設のFMが、カスタマーファーストのFMが求められる。これは事業評価に直結するヘルスケアFMの特徴と言える。FMの視点である戦略・戦術・日常・非日常の4つの階層から、オペレーション評価につながるFMの可能性を、コアとなるLCMから解説する。
⑩	8月4日(金) 20:00-21:00	ネットワーキング		

(講師紹介)



松田 淳 (まつだ じゅん)

KPMG ヘルスケアジャパン株式会社代表取締役／パートナー

【略歴】

早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。日本長期信用銀行に 6 年間の米国駐在を含めて 13 年勤務、トレーディング、ストラクチャードファイナンス、コーポレートリストラクチャリング、M&A などの分野を担当。その後、2002 年 6 月より KPMG ヘルスケアジャパン株式会社に参画。医療関連企業、医療機関、介護事業者、シニアリビング事業者を含むヘルスケア産業に関連する事業体の戦略立案、投資・ファイナンス、事業再編、事業再生に関するアドバイザーサービス、投資家・金融機関に対するヘルスケア関連の投融資に関するアドバイザーサービスに従事。

【著作等】『ヘルスケア施設の事業・財務・不動産評価』（編著）等



鉄尾佳司 (てつお よしじ)

㈱学研ココファンホールディングス エキスパートマネージャー

日本証券アナリスト協会検定会員、中小企業診断士、米国公認会計士

【略歴】

東京大学理学部卒業。三井信託銀行を経て、2012 年から㈱学研ココファンホールディングスに入社。財務戦略室長として、高齢者福祉・子育て支援をビジネスドメインとする学研ココファングループ全体の財務経理、コーポレートファイナンス、バイサイドM&A・事業承継、医療法人との合弁会社設立、新規事業、海外事業展開、ヘルスケアアセットの不動産取引・不動産流動化・不動産ファンド組成などの事業経営に従事。日本不動産鑑定士協会連合会調査研究委員会ヘルスケア関連小委員会専門委員



今井高浩 (いまい たかひろ)

大和ハウス工業㈱、シルバーエイジ研究所所長

【略歴】

1984 年関西大学経済学部卒業。大和ハウス工業株式会社建築事業部入社、2002 年 大和ハウス工業シルバーエイジ研究所入所、2011 年 大和ハウス工業シルバーエイジ研究所所長就任、現在に至る。シルバーエイジ研究所では医療機関を中心とした医療・介護事業者の皆さまへ、経営に有効な事業の提案や課題解決の為のソリューションを提供している。住宅生産団体連合会成熟社会居住研究会委員、高齢者住宅推進機構住空間研究委員会委員、全国地域医業研究会会員、全国特定施設事業者協議会、全国老人保健協会賛助会員。

【著作等】日経 BP 社『高齢者住宅開設・運営パーフェクトマニュアル』

日経ヘルスケア編 共著



里勇輝（さと ゆうき）
税理士法人山田&パートナーズ横浜事務所長

【略歴】 筑波大学大学院修了。2008年税理士法人山田&パートナーズに入所。医療機関の経営コンサルティングに加え、個人開業医の相続税対策や資産承継コンサル、医療法人の事業承継や M&A アドバイザリー業務に従事。2016年より税理士法人山田&パートナーズ横浜事務所長に就任。

【著作等】

「法人が納める地方税 Q&A 法人住民税・事業税・事業所税・償却資産税」（税務経理協会）共著／「仕訳・勘定科目インデックス」（税務研究会）共著



村木信爾（むらき しんじ）
明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科特任教授

（第3回「企業不動産（CRE）戦略とファシリティマネジメント（FM）の新しい展開」参照）



藤村隆（ふじむら たかし）
ジャパンシニアリビングパートナーズ㈱代表取締役社長

【略歴】

1985年早稲田大学法学部卒業、日本長期信用銀行（現、新生銀行）入行。2004年5月に日本初の有料老人ホームへのノンリコースローンを実行した。2007年3月不動産ファイナンス部部长、2010年7月にヘルスケアファイナンス部を創設し初代部長に就任。ヘルスケア REIT 構想の推進とヘルスケア施設の証券化業務に携わる。2014年4月ジャパン・シニアリビング・パートナーズ㈱設立に伴い現職に就任。2015年7月ジャパン・シニアリビング投資法人が東京証券取引所の不動産投資信託市場（J-REIT 市場）に上場した。

【著作等】

「サービス付き高齢者向け住宅の事業モデルと情報提供に関する調査研究」（高齢者住宅財団）（共著）

「ヘルスケア施設の事業・財務・不動産評価」（同文館出版）（共著）

【講演等】

早稲田大学大学院ファイナンス研究科、東京大学公共政策大学院、住宅・金融フォーラム主催講演会等において講師、パネリスト。ヘルスケアリートの検討委員会委員（国交省・金融庁・厚生労働省）（2012～2013年）、「高齢者向け住まいにおける経営実態の把握のあり方に関する研究会」委員（厚生労働省の委託）（2015年）「ヘルスケアリート普及促進セミナー」（金融庁、国交省、東証、ARE S 共催）講師（2013～2017年）等多数



瀬戸友介 (せと ゆうすけ)
株式会社あおぞら銀行 本店営業第六部
医療福祉グループ 部長代理

【略歴】

2003年立命館大学法学部卒業、あおぞら銀行入行。高松支店、金融法人第二部、金融法人業務部にて主に金融機関RMとして地域金融機関向けソリューション業務に従事した後、2011年より事業ファイナンス部 医療福祉グループに参画し、医療機関及び介護事業者向けに通常のコーポレートファイナンスのみならず、再生・M&Aファイナンス、資産流動化ファイナンス、その他コンサルティング等の業務に従事。社内組織改革により、現在は本店営業第六部医療福祉グループに所属。公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 認定登録 医業経営コンサルタント。



上坂 修 (こうさか おさむ)
(株)ヘルスケアFM研究所代表取締役社長、
(公社)日本ファシリティマネジメント協会 (JFMA) ヘルスケアFM研究部会長

【略歴】

1973年大阪市立大学工学部卒業、株式会社 竹中工務店入社。設計部、FM部、医療福祉・教育本部を歴任。日本ファシリティマネジメント協会キャンパスFM研究部会、ヘルスケアFM研究部会を経て、2011年より同ヘルスケアFM研究部会長。2015年株式会社 ヘルスケアFM研究所開設。日本建築学会正会員、一級建築士、情報処理技術者、認定ファシリティマネージャ、建築・設備総合管理士、応急危険度判定士。

【著作等】

『ヘルスケア施設の事業・財務・不動産評価』（共著）、「FM視点からのリニューアル計画」病院設備（医療福祉設備協会）、『BIM-FMガイドブック』（共著 JFMA）、『病院経営のイノベーション』（共著 建帛社）、『病院FMとBCP』病院（医学書院）、『病院にこそ必要なFM－病院建替・増改築に関する調査報告書』（共著 JFMA）等

【講演等】

国立大学法人等施設系職員研修会、沖縄県病院事業局県立病院、日本職業・災害医学会 学術大会、日本医療福祉設備協会、国際病院設備学会、日本医療福祉建築協会、日本医業経営コンサルタント協会、日本建築学会、北里大学医学部、大学病院施設マネジメント研究会等における講演多数。

【事業概要】 専門分野 FM統括マネジメント、LCM、BCM、施設・財務評価、ヘルスケア施設企画・設計・監理等

以上